

挑戦～翔ける思い～

会議の在り方を考えよう

「会社のことを皆で考え、皆で決める成長の場」



中村社長

会議の目的

会議とは、計画を達成するための障害となつている問題を洗い出し、解決するための案を議論する場であると思います。

現状の問題を社員全員が把握し、全員で改善し続ける努力を行うことで、コスト競争力や生産性、顧客満足度の向上を図ることの出来る企業へと成長していけるのです。

きっかけをつかむ

現在行っている会議では、一人でも多くの社員の方に問題に気付いて頂き、改善するための

行動を起こすきっかけをつかんで欲しいと思っています。

自分が行っている仕事の環境が「現状で良いのか」、それとも「改善をする必要があるのか」など、いろいろ考えて仕事を行って下さい。そして、気付いたこと、感じたことがあれば会議の場で積極的に発言して下さい。活発な意見交換が行なわれる会議に発展すれば、自然と自身の濃い会議になります。

見え始めた変化

会議を行うことで変化が現れてきたかどうかは分かりませんが、しかし、少しずつ何かが変化しているような気がしています。

例えば「朝早く会社に来て仕事をする」「今まで出来なかった仕事を積極的に覚えようとする」など、以前まで行わなかったことに「挑戦をする」社員の数が増えてきました。

課題に立ち向かうことで個人の成長は必ず早まります。「自分が良かれ」と思うことを行動に移すことは素晴らしい。経営者

としては嬉しい限りです。

見え始めた課題

しかし、仕事の仕方のギャップも感じています。このまま時間が過ぎていけば、仕事を行う人、行わない人で明確な差がついて来ると思います。今行っている会議で、このギャップを埋めていかなければなりません。

そのためにも、今よりも本音の部分で話し合い、問題を具現化し、問題解決の手段を具体的に皆で話し合ってください。

会議のレベルアップ

現在、当社の目標は非常に高く設定してあります。この目標を達成するためには、会議でもつと意味のある話し合いをしなければいけません。

しかし、あまり積極的な意見が出てこないことについては会議に慣れていないので仕方がないと思っています。ですが、いつまでも成長せずレベルの低い会議に慣れてしまつてはいけません。よりレベルの高い会議にしていくためにも、事前に自分達でレジュメを作り、取組みの

結果をしっかり検証し、自分達で「PDCA」を回していただくなどの行動も必要です。

そして、この会議がもっと会社の方向性を検討していく場になって欲しいと思います。もっと積極的に意見交換をし、会社の問題を具体的に検討して、問題解決に向けて徹底的に議論する。そうしていかなければ会社と皆の成長はありえません。本音を言わず、当たり障りのない話し合いでは会議の意味がないのです。

皆と共に成長したい

今は、会社の方向性について私一人が独断で決め進めている状態です。しかし、私一人ですべてを決めるのではなく、社員一人一人を考えて、皆の意見を形にして会社の方向性を決めていきたいと思っています。

皆と一緒に真剣に会社の将来について話し合い、皆で会社を動かしていく、そのための意見交換の場として、会議のレベルアップが必要なのです。

皆さんには「自分が会社を成長させるのだ」という気持ちを持って会議に参加して欲しいと思います。